

# 囲碁サミット宣言文

全国で囲碁文化の振興に取り組む6の自治体が、「囲碁を中国から日本に伝えた」とされる奈良時代の偉人・吉備真備公ゆかりの地、倉敷市真備町に集い、「次の世代に伝える囲碁文化」をテーマに、第15回囲碁サミットを開催しました。

「日本の囲碁の元祖」とも言われる吉備真備公は今から約1,300年前に遣唐使として、現在の中国に渡り、帰国後は学者や政治家として活躍しました。日本へ持ち帰った当時最先端の学問や文化の中に囲碁があったと伝えられています。

これからも、千年以上にわたり進化し続ける囲碁の歴史と伝統を学び、囲碁の優れた特性を活用した人づくり・まちづくりを推進し、次世代に伝えることが求められています。

本日、囲碁サミットに参加した私たちは、先人が築いてきた素晴らしい囲碁文化の歴史を継承し、それぞれの地域の特性に応じた囲碁文化の振興を図るとともに、囲碁を活用したまちづくりに尽力することを確認し、次のとおり宣言します。

1. 地域の特性を生かした囲碁文化振興事業の充実、発展に努めます。
2. 地域、学校、行政が連携し、子どもから大人まで、幅広い世代が囲碁に親しめる環境づくりに努めます。
3. 囲碁にゆかりのある自治体は、お互いの取組を尊重し、学び合い、連携を図るとともに、更なる囲碁文化の普及に努めます。
4. 令和6年度は公益財団法人日本棋院創立100周年の記念の年となることから、日本棋院の記念イベントと同時開催のシンポジウムに参加し、囲碁文化のより一層の普及・発展に努めます。

令和5年12月16日

囲碁サミット2023 in くらしき